

これからの 地域社会のために

川崎市議会議員(中原区)

いど清貴

きよたか



令和6年第4回市議会定例会を終えて

昨年、市制100年を迎え、今年は次の100年に向けた一歩を踏み出す大事な年になります。引き続き、川崎で暮らしてよかったと思える街づくりに向けて今年1年も邁進してまいります。

昨年開催されました、第4回定例会において私が所属する「みらい川崎市議会議員団」の代表質問が12月5日に行われ、「今後の財政運営及び次年度予算編成」「JR南武線のワンマン運転実施」や「第2期川崎市子ども・若者の未来応援プラン」などについて質問し、また12月16日には一般質問にて、「ウェルビーイング指標」「学校のネットワーク環境」「出生届のオンライン化」についてそれぞれ取り上げました。今号では一般質問についてご報告させていただきます。

「心も体も満たされた幸せな状態」のことです。健康だけでなく、人とのつながりや生活の充実感も含めた広い意味での幸せを指します。

デジタル技術を活用して地域の暮らしを豊かにする「デジタル田園都市国家構想」の中で、国も注目しているウェルビーイング指標が、地域の幸福度を測る基準として位置付けられています。この指標を活用することで、地域ごとの暮らしの充実度を可視化し、課題解決や政策改善につなげています。

誰もが誇れる川崎を目指して

私たちの生活は技術の進歩によって便利になりました。しかし、便利さだけでは本当の幸せを得ることはできません。現在、「ストレス社会」という言葉が生まれ、コミュニティのつながりが薄れる課題も浮上しています。私は、こうした状況を踏まえ、市民の幸福度を「見える化」し、具体的な対策を進めていきたいと考えています。

心と体の健康が満たされ、「川崎に住んでよかった」と誰もが思える地域づくりを目指して取り組んでまいります。

ウェルビーイングって何？

デジタル田園都市国家構想の4項目

資料

ウェルビーイング指標って何？

ウェルビーイング指標は、「市民がどれくらい幸せか」を数字で表すものです。この指標を使って、今の暮らしをより良くするためのヒントを見つけます。

デジタル田園都市国家構想とは

地方活性化を図るには、地方の経済・社会に密接に関係する様々な分野において、デジタルの力を活用し、社会課題の解決や魅力向上を図ることが必要です。このために4項目に重点をおきつつ、分野横断的な支援を通じて地方の取組を推進します。



資料

1

地方に
仕事を作る

2

人の流れを
作る

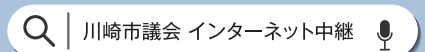
3

結婚・出産・子育ての
希望を叶える

4

魅力的な
地域を作る

※代表質問、一般質問の発言は「川崎市議会 インターネット中継」でご視聴できます。



ウェルビーイング指標について 本市の考え方は？



▲川崎市の新庁舎(ホームページから引用)

市民の暮らしやすさや幸福感を数値化・可視化するもので、多面的に施策の効果を捉える可能性があります。

ウェルビーイング指標は、国の「経済財政運営と改革の基本方針2024」や「デジタル田園都市国家構想総合戦略」で活用が推進されています。この指標は、客観指標と主観指標をバランスよく用い、



客観的評価と主観的評価の違い

客観的評価とは、自分以外の人の好みや感じたこと、多くの人に共通する感覚を基準とした評価。

主観的評価とは、自分の好みや考え、自分が感じたことを基準とした評価。



ウェルビーイング指標の活用可能性と 今後の展望は？

ウェルビーイング指標は、市民の暮らしやすさや幸福感を数値化し、オープンデータを活用することで本市の特徴を他都市と比較して読み取ることが可能です。一方で、施策との因果関係や利用継続性といった課題も存在します。本市では、他都市の事例や有識者の意見を参考にしながら、同指標の特性や有効性を調査し、活用の可能性を検討しています。引き続き、他都市の動向を注視し、市民生活の質向上に向けた取り組みに努めてまいります。



教育現場の環境改善が未来を変える

近年、教職員は授業や生徒指導に加え、膨大な事務作業などに追われ、長時間労働が常態化しています。この結果、心身の健康が損なわれるだけでなく、教育現場に対するネガティブなイメージが広がり、教員志望者の減少や早期退職の増加といった課題が深刻化しています。私は、より良い教育を実現するためには、こうした教職員の働く環境を改善することが不可欠だと考えています。教職員が心身の健康を保ちながら安心して働ける環境は、児童生

徒一人ひとりと向き合う時間を確保し、個別支援の充実や教育の質向上につながります。

教職員の働く環境の改善は、未来を担う子どもたちのために欠かせない重要な課題だと考え取り組んでまいります。



学校内の働く場所ごとに端末やネットワークを変える必要があり、 2度手間などの業務も負担となっている。

ネットワーク統合の 進捗状況について

校務支援システムとGIGA端末のネットワーク統合については、文部科学省が示す方向に基づき、現行システムを継続利用しながら検討を進めています。また、校務系・学習系ネットワークの統合やシステムのクラウド化などが方向性として示されており、国の実証事業の動向を注視しながら、最適な方法を引き続き、検討してまいります。



ネットワーク統合による 費用削減の効果について

校務用PCは約7,600台を複数のリース契約で調達し、年間リース料は令和5年度決算で約3億4,900万円がかかる他、先生が主に校務で使う校務用ネットワークの回線費用は約3,700万円(※別途、教育用ネットワークにも費用が掛かります)となっています。

これらの分離したネットワーク環境を統合することで、PC端末・ネットワーク共に効率化や費用削減が見込まれます。統合の必要性を認識し、国の方向性を踏まえながら、今後も適切な手法を検討してまいります。

※文部科学省から示された通信速度等の確保に向けて計画を策定し、ウェブサイト等で公表することが、次期GIGA端末の導入に際しての補助要件となっています。

PROFILE

いど清貴(37歳)
1987年11月20日生まれ、中原区下小田中在住
拓殖大学卒業後、富士通グループに入社社員を経て
2023年4月施行の第20回統一地方選挙
中原区選挙区より挑戦、6,619票を獲得し初当選、
2023年5月より川崎市議会議員
会派：みらい川崎市議会議員団、まちづくり委員会

いど清貴
きよたか
YES, I DO!



詳しくは
ホームページを
ご覧ください

LINEからも対話できますので
お気軽にご連絡ください。



LINE